

福島第一原発事故に関する経験共有セミナー

- 趣旨: 原発輸出の反対運動に取り組む韓国、自国の原発建設に対する反対運動に取り組むタイやインドネシアの市民団体が、福島原発事故の被害の実態を理解し、日本の経験の教訓を各国の運動につなげられるようにすることを旨とし、アジアからの参加者と福島の住民および福島で支援活動を行っている人々が直接交流・議論する場を設ける。

- 日時: 7月30日(土)9:00~18:00

- 会場: 大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス
<http://www.keiho-u.ac.jp/research/asia-pacific/access.html>

- 実施内容・プログラム(予定) ※逐次通訳入り
 - 9:00 受付(名札記名)
 - 9:10-9:30 趣旨説明・自己紹介
 - 9:30-9:50 福島原発事故の概要、福島状況・被ばくリスク等に関する情報提供
話し手: 伴英幸さん(原子力資料情報室)
 - 9:50-10:50 【セッション1】避難の問題点
講師: 中手聖一さん(子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク代表)
 - 10:50-11:50 質疑応答・ディスカッション
 - 12:00-13:00 昼食
 - 13:00-14:00 【セッション2】事故による農業関連の実被害と風評被害の広がり
講師: 大野和興さん(農業ジャーナリスト)
 - 14:00-15:00 質疑応答・ディスカッション
 - 15:00-15:20 休憩
 - 15:20-16:20 【セッション3】原発立地が地元社会に与えた影響
講師: 大賀あや子さん
 - 16:20-17:20 質疑応答・ディスカッション
 - 17:20-17:50 参加者の感想・まとめ

- 主催・協力: メコン・ウォッチ、インドネシア民主化支援ネットワーク(NINDJA)、
「環境・持続社会」研究センター(JACSES)、原子力資料情報室(CNIC)、
No Nukes Asia Forum、国際環境 FoE Japan、アジア太平洋資料センター(PARC)